

私の山遊び2020

旗振支部 畑本 恵里

2020年を振り返ると1番のキーワードはなんと言っても「コロナウイルス」。私たちの生活に大きな影響をもたらし、各国共通の関心事となりましたね。山梨県からは登山規制も発令され、その他の地域でも山小屋は定員を半数近く減らしての営業、もちろん例外もありましたがテント場も基本的には完全予約制。これらは登山愛好家のみなさんにとって非常に大きなニュースだったのではないのでしょうか。

そんな2020年…だからこそ、私にとっては新たな山の楽しみもたくさん発見することができた1年でした。そこで、1月から10月までの10か月間で自分自身の印象に残っている山遊びを簡単に振り返ってみたいと思います。

<1月2日~3日 北八ヶ岳>

年始は北八ヶ岳へ。かつてのクロスカントリースキーコースを利用して北八ヶ岳ロープ



ウェイの山頂駅から麦草峠を経由し、高見石まで雪上散歩。元旦の混雑を避けたのでトレースはあれども人はほとんどおらず、静寂に包まれた雪の森を独占できました。ガラとした高見石小屋で一人コタツに入って読書しながら過ごす正月の夜もまたステキなものです。

<2月8日 鍋倉山>



厳冬期。パウダースノーを楽しむ特別な季節です。この時は、会社の仲間と一緒に新潟県と長

野県の県境をなす関田山脈の鍋倉山へ。この地域は天然のブナ林が風を遮



り、乾いた雪が飛ばされることなく残るためか、まるで雪風呂のような良質の粉雪で山が覆われています。ブナの巨木をすり抜けて滑るツリーランには独特の魅力がありますね。

<3月21日 白馬乗鞍岳周辺>

樽池ロープウェイの早春運行期間は、白馬乗鞍岳方面で山スキーを手軽に楽しめます。この時は強風のため



アイスバーン化していそうな乗鞍岳へは行かず、手前の天狗原から良さそうな斜面を見つけては滑り降りました。

寒い季節の信越地方の山というと、雪煙の舞う中、シユカブラを踏みつぶしながら進むのが、まるであの梱包材「プチプチ」をつぶすときのようで私にとってはひそかな快感なのですが、どなたか共感いただけますでしょうか？

<4月~5月 旗振山>

コロナウイルスの感染拡大が留まるところを知らず自粛モードになったこの期間は、家から1分でアクセスできる裏山、旗振山の存在に助けられました。気が向いたらすぐに山を歩けるというのは、街と山の距離が近い神戸ならではの魅力ですね。テレワーク期間中はお昼休みになるとお弁当を持って旗振山に行くこともしばしば。暗いニュースの多いときでも変わらずそこにある自然の美しさに心支えられるわたしがいました。



<6月27日 雪彦山>

長距離移動
ができない中
ですが、近隣の
フィールドへ
は足を延ばし
始めました。こ
の日は三彦山
の1つであり、
マルチピッチ



クライミングのグレンデであり、銘酒にその名を刻む
ことでも知られる雪彦山へ。

不思議なことにこの山を歩くといつも、自分も含めす
べての動植物の命が平等に尊く感じられ、平和に満ち
た穏やかな気持ちになります。霊山ならではの荘厳な
雰囲気によるもののでしょうか？

<7月12日 荒地山ブラックフェース>

例年なら6月以
降は沢登りの予定
が盛りだくさんの
のですが、今年は計
画するたびに大雨
で沢が増水し、1度
も沢登ができてい
ません。そこでロー
プワークが錆びつ
かないように、沢の
仲間たちが集まり
ブラックフェース
で練習。久しぶりの
チーム行動、久しぶりの懸垂下降は楽しいものです。



<8月1日 薬師岳>



もあるの
で、日帰りで
楽しむ方法を検討し、
トレイルランニングで



5か月ぶりにアル
プスへ！ とはいえ
テント場の予約問題

折立から薬師岳をその日のうちに往復するプランに
しました。久しぶりの標高2900m。高山ならではの
の植生や、視線と同じ高さを走る雲に大興奮です。い
つもなら20kgの荷物を背負って一歩一歩踏みし
めながら通過するこのルートを経験し、6kg程度の軽装備
で走ってみると、また違った爽快感がありました。

<9月1日~2日 五竜岳>

台風情報とにらめっこする季節の到来です。運よく
五竜岳山荘のテント場が予約できたので、久しぶりの
テント泊登山。遠見尾根から五竜岳を往復しました。



<10月2日~3日 奥穂高岳>

9月下旬から一気に気温が下がったので、今年の紅
葉は期待できるかも、と奥穂高岳へ。涸沢の紅葉には
少し早かったですが、ザイテングラードへの道中はカ
ンバやナナカマドがきれいに色づいていました。奥穂
高岳山荘より上部は風も強く晩秋のような寒さ。シャ
ンダルムまで足を延ばそうかとも思いましたが、寒さ
に負けて断念。奥穂高岳からおとなしく下山しました。
涸沢のテント場は予約が必要ないにもかかわらず数
百張。決して少ないとは言えませんが、それでも例年
よりは少ないですね。



さて、ここ
まで10か
月間を振り
返りました。
11月にな

った現在は、ラ
ニーニャ現象
の影響で西日
本の積雪が今



年は多そうだが、とソワソワ。来たるスノーシーズンがまた楽しみです。

テントを背負って気ままにアルプスの山々を縦走する、そんな楽しみは叶わない2020年でしたが、その代わりに普段とは違う角度から山を見ることもできました。歩いたり走ったり攀じったり、のんびり読書をしたり仲間と語り合ったり。自然の楽しみ方は十人十色…いえ、十人百色ですね。

2021年もみなさんがたくさんの山の楽しみを発見できますように。



わが心の裏山、旗振山より。